

(公印省略)

新病 第 16 号

平成 20 年 7 月 31 日

日本共産党福岡市議団 様

福岡市長 吉 田 宏
(保健福祉局新病院創設担当)

「こども病院の人工島移転問題に関する質問状」について (回答)

7 月 25 日にいただいた標記質問状につきましては、下記のとおり回答いたします。

記

(1) について

新病院につきましては、去る 7 月 28 日に市として「福岡市立新病院の医療機能、規模、整備場所」について方針を決定し、その中で、整備場所についてはアイランドシティとしたところですので、それに至った市の考えについてご説明いたします。

新病院の整備場所については、昨年、検証・検討を行い、患者や家族の方が現地や近隣での建て替えを要望する声が多かったことから、まずはそれらについて検討を行い、いずれも最適な場所ではないと判断されたため、全市的に候補を広げて、最終的にアイランドシティが適地との市としての方向性を出しております。

その後、医療等の専門的な見地からご審議いただいた福岡市病院事業運営審議会の答申を踏まえ、市民の皆様から様々な形でいただいたご意見も参考にさせていただきながら、最終的には、新病院で担うべき医療機能や規模を始め、敷地の活用性、療養環境、経済性、まちづくりの観点などを総合的に判断して決定したものです。

これまで、市民説明会や患者・家族の方への説明会も実施し、本市の考え方はご説明してまいりましたし、様々なご意見もいただきました。

しかしながら、すべての方のご要望をかなえる整備場所の確保は困難であります。

病院運営の責任者としては、まず、病院の医療の質の確保及び向上を基本とし、その上で、利便性など様々な要素についても、今後、充実に積極的に取り組むことで、市民のご要望に応じてまいりたいと考えております。

こども病院の老朽化、狭隘化は喫緊の課題であり、早急な事業化が必要であります。今後、基本構想の策定など、事業化に向けて取り組んでいく中で、パブリックコメントや説明会などを実施し、市民の皆さまのご理解を得られるよう、十分説明しながら進めてまいりたいと考えております。

(2) について

検証・検討では、新病院の整備場所の候補地の選定をするに当たり、患者・家族の方等からご要望の多い現地の近くの候補地を選定するなど、できるだけ多くの候補地を選択するという見地から、選定条件は比較的幅広く設定し、物理的に建設可能な敷地を検討の対象といたしました。しかしながら、それらについては、駐車場の確保台数や将来の拡張性等に課題があり、検討の結果、敷地の活用性や療養環境などの重要性が改めて確認されたものです。

更に、今回は、保健福祉局で、効率的な諸室配置、動線や患者家族のためのスペースなどに配慮した建物面積を基本に、療養環境や将来の拡張性なども加味し、建物周辺の通路など現実的に必要となる諸要素を勘案して算出し、最低3haは必要であるとの結論を得たものです。

(3) について

平成20年度の委託内容は病院事業運営審議会の運営支援とともに、新病院の医療機能や施設のあり方、収支試算などの検討を行い、基本構想及び基本計画の策定の支援を行うとともに、PFIの公募に向けた準備を行うものであります。この作業にあたっては本市病院事業に関する知識やこれまでの検討経緯を熟知していることが不可欠なことから、従来から業務を受託している業者と契約しているものです。

ご指摘の契約理由については、以上のような本市の両病院の状況、福岡の医療環境や本市の財政状況等、業務遂行に必要なノウハウやデータ等の連続性及び一貫した作業方針の必要性を表現したものであります。

このような理由から、同一の業者に委託しておりますが、「福岡市全体の医療行政の観点から見直す」という公約に沿って白紙からの検証・検討を行ったものであります。